

SDカード録画カメラ  
防犯カメラ パソコンアクセス操作編  
運用ソフト・HiP2PClient使用方法



エコの観点より、本書は1回のお買い上げに付き

**1部**のみ同梱（複数台お買い上げの場合でも）  
させていただいております。

取扱説明書

最新更新日：2021年5月  
第1版

**本機カメラ説明書のうち「設置工事編」は別冊になります。**



本機カメラをパソコン上で操作するには以下URLより専用ソフトをダウンロードしてください。  
**本機カメラには同梱・付属しておりません。**

[https://www.elexsystem.co.jp/soft/SD/HiP2P Client\\_Setup\\_H265\\_v6.5.1.4.exe](https://www.elexsystem.co.jp/soft/SD/HiP2P Client_Setup_H265_v6.5.1.4.exe)



専用ソフトダウンロード  
URLのQRコード



説明書ダウンロード  
URLのQRコード

●本書対応のカメラ型番●

- ①ES-CW397SW/C
- ②ES-CD137SW/C
- ③ES-CW620FW/C
- ④ES-CW620FB/C
- ⑤ES-CD620FW/C

この度は当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

当取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用下さい。

取扱説明書内に記載しております、電気安全事項は遵守して下さいよう、お願い申し上げます。

この取扱説明書は、保証書と一緒に大切に保管して下さい。

## 目 次

1. 安全上のご注意（必ずお守りください） -----	4
2. 免責事項 -----	4
3. 準備編：HiP2P_Clientインストール -----	6
4. 基本接続編：本機カメラをパソコンに接続す -----	6
5. 基本接続編：パソコン側のネットワーク設定を行う -----	7
6. 基本接続編：本機カメラとの通信試験を行 -----	10
7. カメラ映像反映編：ソフト上へカメラ映像を反映させる（1台のみ）-----	12
8. カメラ映像反映編：ソフト上へカメラ映像を反映させる（カメラ複数台・追加の場合）-----	13
9. ライブ映像画面・メニューの説明 -----	14
10. メインメニュー -----	18
① プレビュー -----	18
② 自動設備追加 -----	18
③ ローカル再生 -----	18
★ ④ リモート再生 録画映像再生操作でよく使う項目です。-----	19
⑤ 設定 -----	23
1) 設備管理 -----	23
2) パラメータ設定 -----	26
● 映像設定 -----	26
● 画像設定 -----	28
● 音声設定 -----	29
● ネットワーク -----	31
● SDカード -----	32
● 定時スクショ -----	32
● PTZ -----	32
● 登録情報 -----	32
● システム -----	33
● 無線接続 -----	33
● 動き検知 -----	34
3) 録画管理 -----	36
4) アラーム管理 -----	37
5) ユーザー管理 -----	37
6) その他 -----	38
⑥ ログ -----	38
⑦ ログアウト -----	38
⑧ システム終了 -----	38
11. カメラからmicroSDカードを抜いて、カード内保存先をパソコンで確認する方 -----	40
12. 再生ソフト「Player」で録画映像を再生する方法と使い方 -----	42
13. 録画映像データを他再生ソフトでも使用出来るようにする方法 -----	45

14. microSDカード容量と設定からの録画日数について	47
15. 動き検知録画（動態検知録画）作動条件	48
16. 動き検知録画（動態検知録画）設定方法	49
17. 本機カメラアラーム作動時における画像メール送信機能の設定方法	50
18. スマートフォン端末からのアクセス・遠隔監視方法	51
19. アフターサービスについて	53

## 1. 安全上のご注意（必ずお守りください）



### 警告事項

- ① 設置工事は電源工事が必要な場合もありますので、工事業者が行ってください。
- ② 異常が見られた場合には、全ての電源（コンセントを抜く等）を遮断して触れないようにしてください。  
放って置きますと、火災の原因になります。
- ③ 分解しないでください。機器内部に人体が触れると感電する可能性があります。
- ④ 水気・湿気・振動の多い場所に置かないでください。
- ⑤ 濡れた手で触れないでください。感電・火災の原因になります。
- ⑥ 不安定・転倒の恐れがある場所へは設置しないでください。
- ⑦ 雷の際の工事は直ちに中止してください。また配線の一切に触れないでください。
- ⑧ コード・ケーブル類の破損の恐れがある場所への配線は避けてください。
- ⑨ 電源プラグは確実に差し込んでください。また定期的にプラグの清掃をお願い致します。
- ⑩ 静電気には十分気を付けてください。特に冬季は故障の可能性が高くなる要因になります。



### 禁止事項

- ① 専用アダプタへの電源は必ず A C 1 0 0 V を接続してください。
- ② 機器へは必ず決められた電源を供給してください。
- ③ ケーブル類は必ず決められた太さのケーブルを使用してください。  
感電・火災の原因になります。
- ④ 仕様表に基づく使用環境を遵守してください。
- ⑤ 記録媒体組込製品の為、震動・衝撃を与えないでください。

## 2. 免責事項

何らかの原因で機器に異常が見られ、その異常に伴い記録内容が消去・破壊されてしまう場合があります。  
この場合の損失・損害に等に関しても免責とさせていただきます。

また、この場合の記録内容の復旧・復元は行っておりませんので併せてご了承ください。



### 3. 準備編：HiP2P\_Clientインストール

HiP2P\_Clientというソフトウェアをパソコンにインストールして下さい。  
ソフトは以下URLよりダウンロードしてください。

<https://www.elexsystem.co.jp/soft/SD/Hip2P Client Setup H265 v6.5.1.4.exe>



← ダウンロードURLのQRコード

### 4. 基本接続編：本機カメラをパソコンに接続する

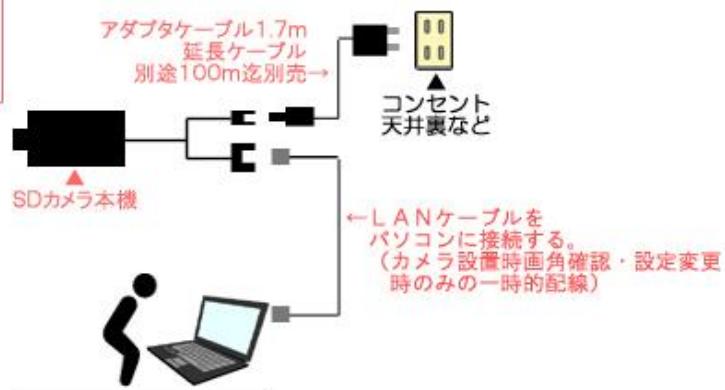
本機カメラとパソコンを接続します。  
以下のように接続してください。

#### ●配線・接続例1（初心者の方向け）

もとも標準な電源供給方式です。 カメラ直近にコンセントが必要  
同梱付属のアダプタで電源を供給します。 初心者の方には一番簡易的でお勧めです。

microSDカードに録画された映像は、カメラから抜き取って、お手持ちのパソコンまで持つて行き、同梱のUSB変換アダプタを経由でパソコンに接続して見る事が出来ます。

アダプタは付属

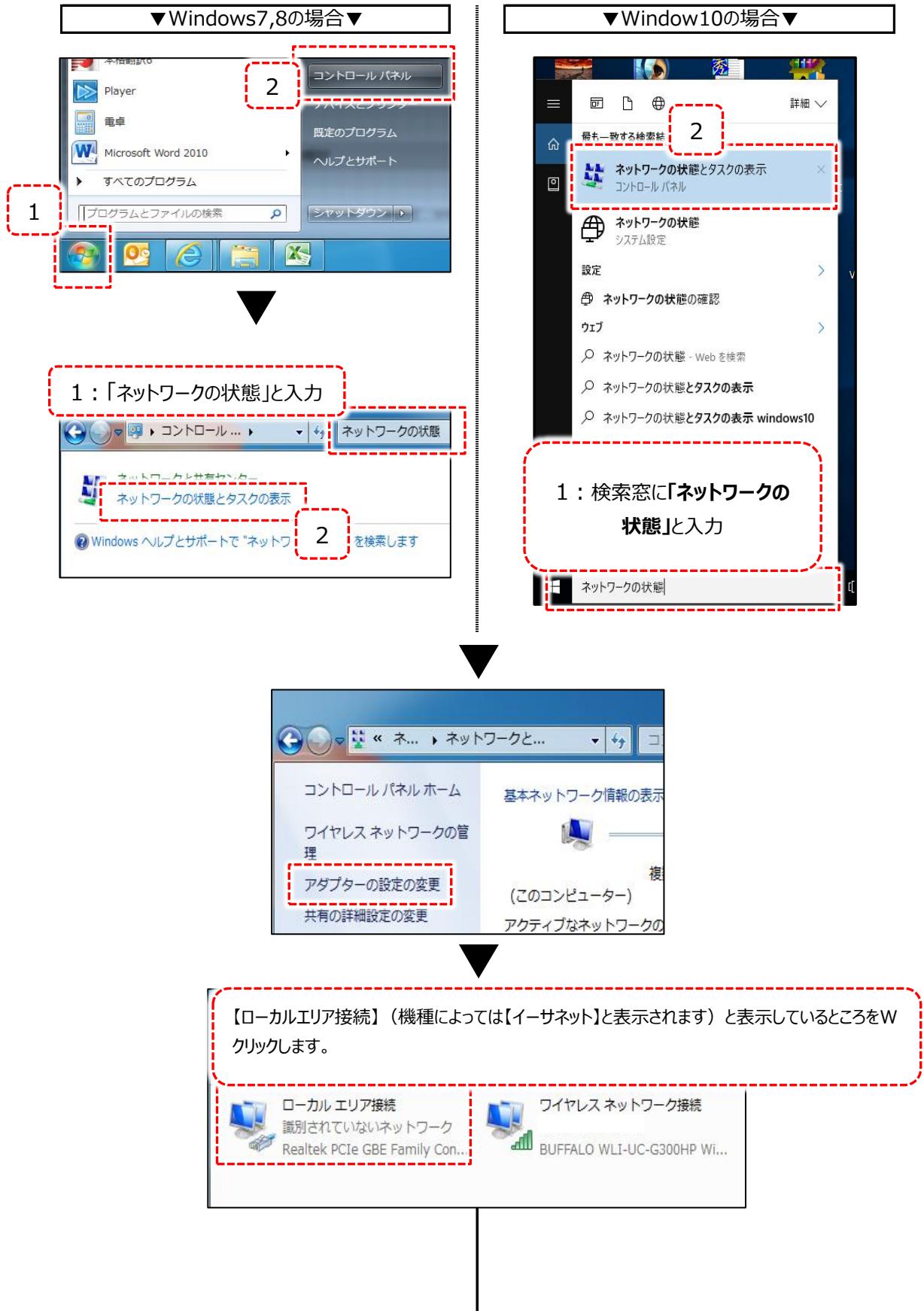


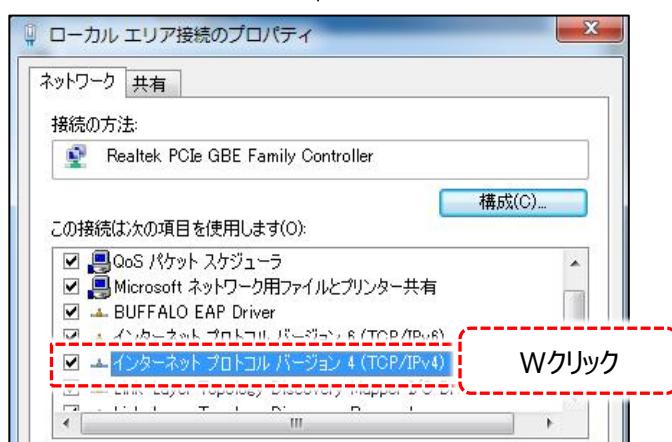
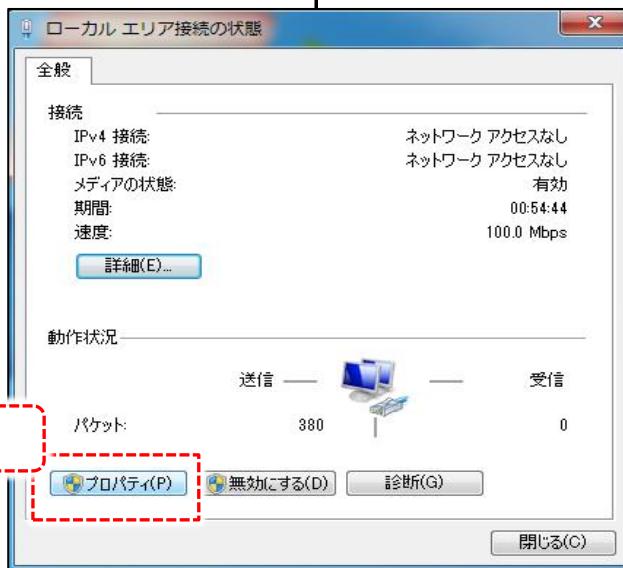
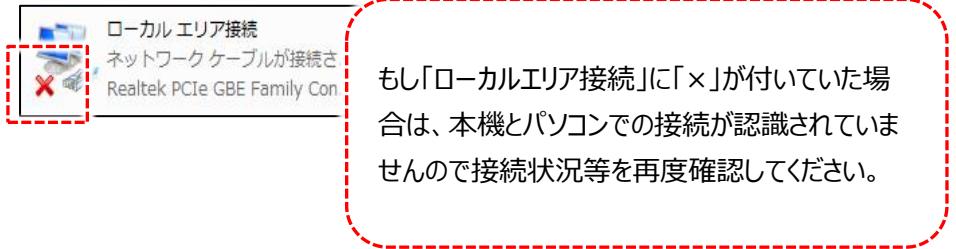
▲ カメラ設置時画角確認・設定変更等のみに、別売のLANケーブルでPCを接続する。

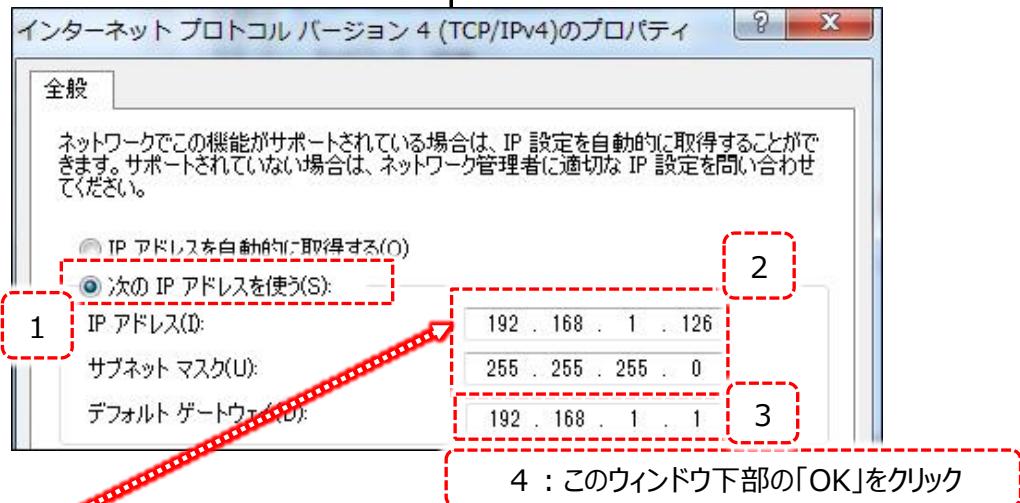
※カメラが複数台ある場合は、ハブ経由でパソコンに接続する必要があります。

## 5. 基本接続編：パソコン側のネットワーク設定を行う

パソコン側のネットワーク設定を行います。  
本機カメラを接続したパソコンのWindows上でコントロールパネルを開きます。  
コントロールパネルの開き方は以下の通りの順番に操作・クリックしてください。







[2] : IPアドレスに「192.168.1.126」と入力してください。

但し、以下の付帯条件があります。

① 本機カメラとパソコンが単独（1対1）でネットワーク的に接続されている。

（本機カメラが複数台接続されている場合はハブ経由にてパソコン接続）

（インターネットがこのパソコンでこの設定を行っている最中は出来ない状態）

② 「126」の部分は基本任意です。但し、

概ね「10~249」で入力してください。

サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力してください。

[3] : デフォルトゲートウェイに「192.168.1.1」と入力してください。

パソコン側ネットワーク設定は以上です。

## 6. 基本接続編：本機カメラとの通信試験を行う



カメラを複数台（複数台の場合はハブ経由でパソコンに接続必須）接続している場合は、ハブに接続しているカメラを1台のみの状態（ハブからカメラ接続LANケーブルを抜く）にして、以下試験を行ってください。

**重要** カメラIPアドレス初期設定は「192.168.1.88」の為、IP重複になってしまい、正常な通信試験は出来ません。

ここで試験の目的は、上記IPで正常に通信出来ているかどうかの試験を行う為です。

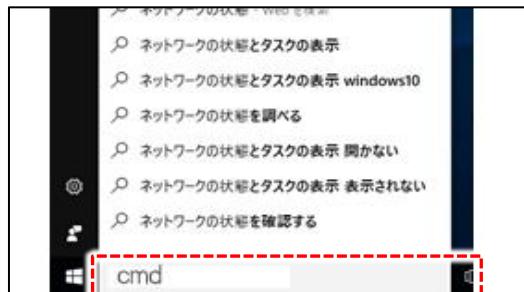
前項のネットワーク設定を行い、本機カメラとパソコンが正常にネットワーク接続されているか否かを試験します。コマンドプロンプトを起動します。起動方法は以下の通りです。

▼Windows7,8の場合▼



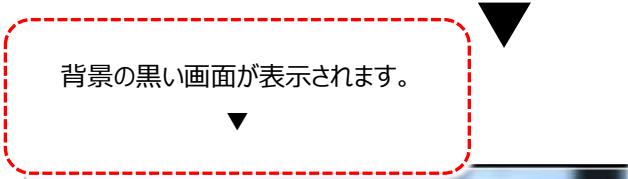
▲検索欄に「cmd」と入力してエンターを押します。

▼Window10の場合▼



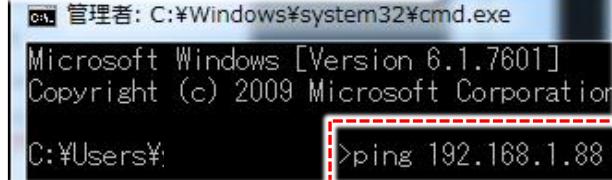
▲検索窓に「cmd」と入力してエンターを押します。

▼



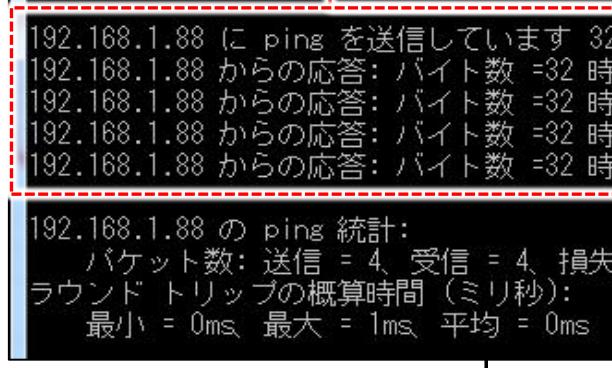
背景の黒い画面が表示されます。

▼



「>」の後に半角で「ping」と入力し、  
**半角スペースを1つ入れて**、英数字で本機のIPアドレスである  
「192.168.1.88」を入力します。  
そしてエンターを押します。

▼



192.168.1.88 に ping を送信しています 32 バイトのデータ:  
192.168.1.88 からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=64  
192.168.1.88 からの応答: バイト数 =32 時間  
192.168.1.88 からの応答: バイト数 =32 時間  
192.168.1.88 からの応答: バイト数 =32 時間  
192.168.1.88 の ping 統計:  
パケット数: 送信 = 4、受信 = 4、損失 =  
ラウンドトリップの概算時間 (ミリ秒):  
最小 = 0ms 最大 = 1ms 平均 = 0ms

▲ 設定がすべて正常な場合は、このよう  
に「バイト数=○○～  
TTL=○○」というような数値が表  
示されます。

## ▼通信試験が失敗した場合

192.168.1.126からの応答：宛先ホストに到達できません。  
要求がタイムアウトしました。  
要求がタイムアウトしました。  
要求がタイムアウトしました。

通信試験が失敗した場合、「宛先ホストに到達できません。」「要求がタイムアウトしました。」というような表示になります。

この場合は、

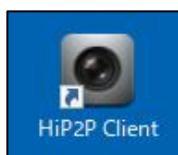
- ① 本機カメラのIPアドレスとpingで入力するIPアドレスは一致していますか？
- ② LANケーブルはきちんと接続されていますか？
- ③ 本機カメラに電源は入っていますか？

これらを確認して再度通信試験を行ってください。

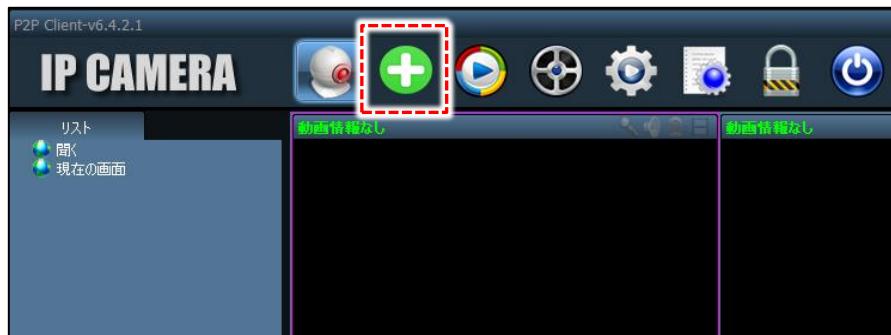


**重要** カメラ複数台の場合の試験を行ったあとは必ずLANケーブルをハブに接続し、復旧してください。

## 7. カメラ映像反映編：ソフト上へカメラ映像を反映させる（1台のみ）



【P6】-「3. 準備編：HiP2P Clientインストール」でインストールした「HiP2P Client」をWクリックして起動します。



画面上部の  
「自動設備追加」を  
クリックします。



ログインパスワードを  
聞かれるので、  
パスワード欄は空白で  
「はい」をクリックしてください。



[1]にパソコンにネットワーク的に接続されているカメラの  
UIDが表示されます。

それから1分以内に[2]に  
接続したカメラのライブ映像  
が表示されます。  
カメラ複数台の場合は、  
UIDが表示されるのみで  
すべてのカメラ映像はこの  
時点では表示されません。



カメラ1台接続・反映の場合はこれで完了です。  
カメラ複数台・または追加の場合は更に工程があります。  
**重要** 事項【P13】をご覧ください。

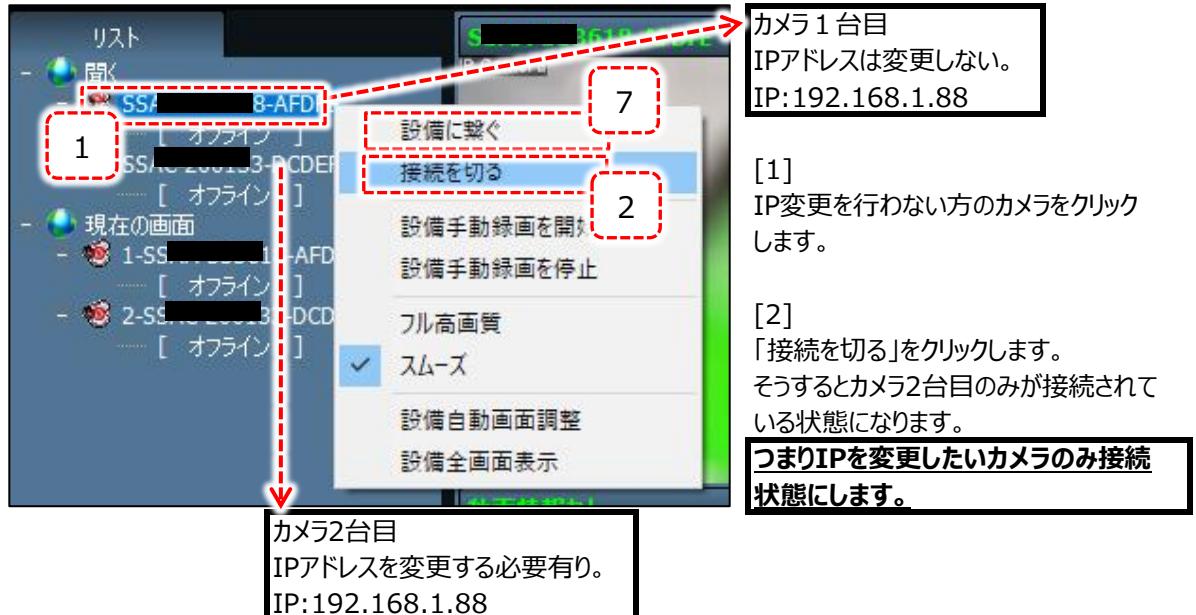
## 8. カメラ映像反映編：ソフト上へカメラ映像を反映させる（カメラ複数台・追加の場合）

カメラを複数台または追加の場合、カメラのIPアドレスは重複禁止です。従ってカメラのIPアドレスを変更する作業が発生します。

ここでは2台のカメラを本ソフトに接続する場合のIPアドレス変更手順について説明します。

この工程の準備として【P12】-「7. カメラ映像反映編：ソフト上へカメラ映像を反映させる（1台のみ）」を行っている事が前提です。

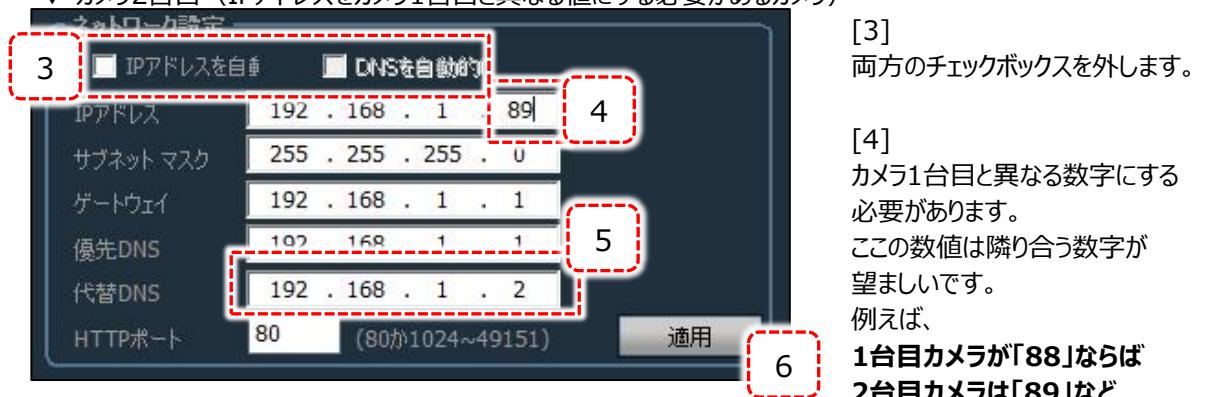
### ▼ ライブ映像画面左のカメラリスト



そして…、

画面上部の「設定（歯車マーク）」をクリック → 左サイドメニュー「パラメータ」クリック  
→ 「パラメータ」右横のカメラリストの2台目カメラクリック → 「ネットワーク」クリック

### ▼ カメラ2台目（IPアドレスをカメラ1台目と異なる値にする必要があるカメラ）



[5] : 記載の通りに入力してください。

[6] : 「適用」をクリックで設定保存です。

設定が反映される場合は「設定成功」の旨が表示されます。

[7] : ライブ映像に戻り、カメラ1台目[1]を右クリックし「設備に繋ぐ」をクリックします。

するとカメラ1台目直下が「オンライン」の表示になります。

そして、カメラ1台目[1]をマウス左ドラッグして、右のライブ映像分割画面の元のところにマウスカーソルを戻すとカメラ1台目の映像が復旧します。



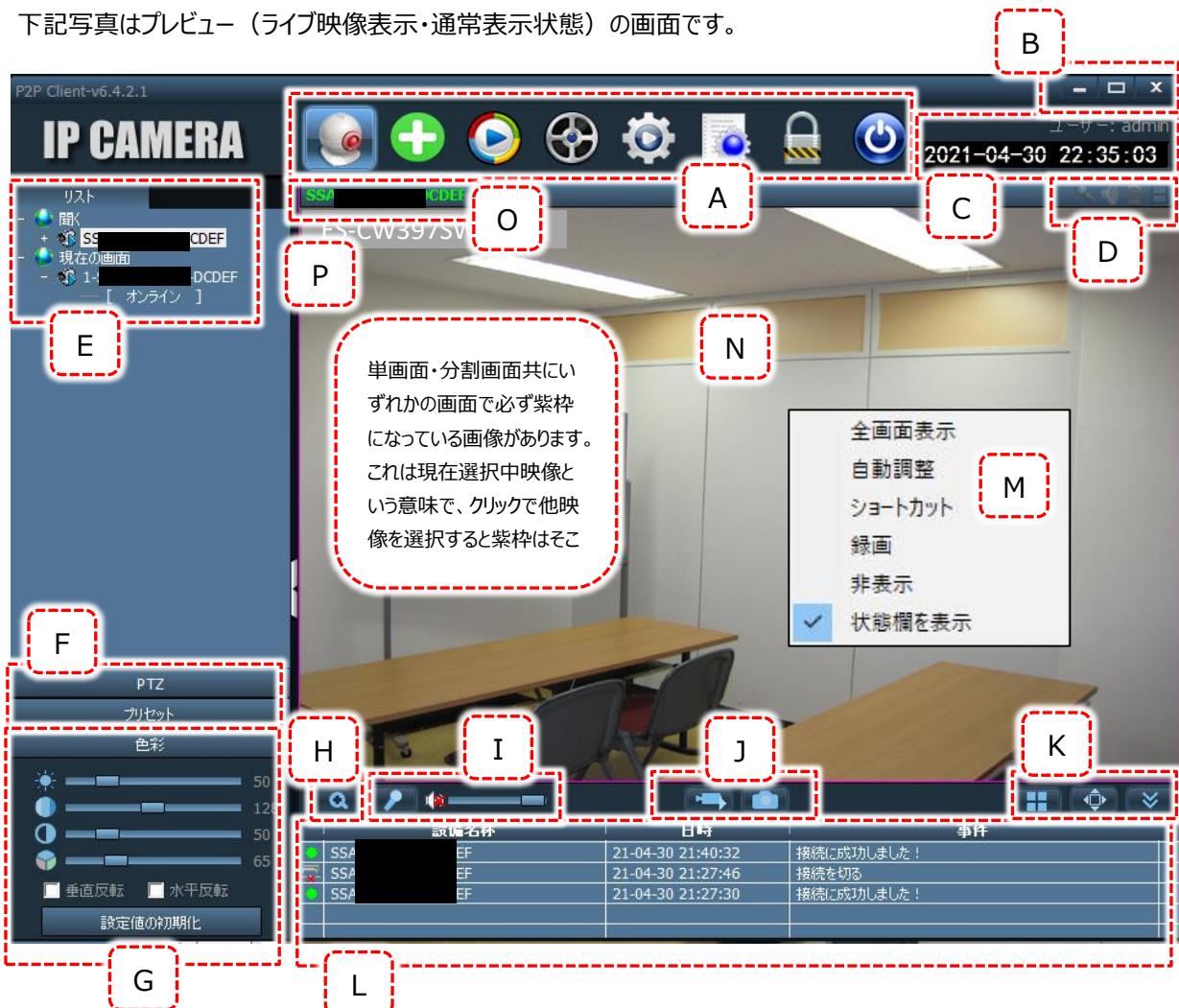
ここで設定例は、ルーターや他ネットワーク機器に接続していない事が前提になっています。

ルーターや他ネットワーク機器が接続されている場合は、適切にIPアドレスを変更してください。

ご注意

## 9. ライブ映像画面・メニューの説明

下記写真はプレビュー（ライブ映像表示・通常表示状態）の画面です。



[A] : メインメニュー

メインメニューになります。各種設定はこのメニューから行います。  
[【P18】-「10. メインメニュー」](#)にて詳細記載。

[B] : 画面操作



\_ : 画面のみをデスクトップ上から一時的に消去します。

□ : 画面を最大サイズに表示します。

× : 本ソフトを閉じます。

[C] : 時刻

本ソフトログインIDと現在日時を表示します。  
 本ソフトを起動しているWindowsの時刻と同期しています。

## [D] : 状況表示灯

左から、

 : [I]のマイクがONになっている時に点灯します。

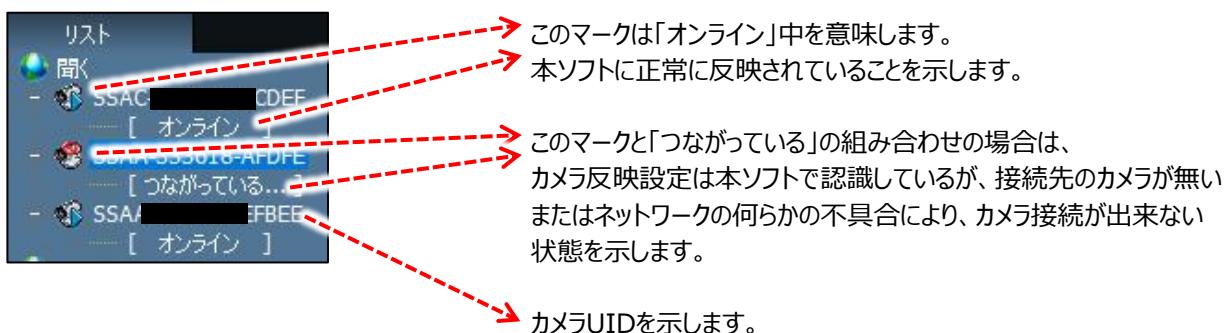
 : [I]のスピーカーがONになっている時に点灯します。

 : 本機カメラの動き検知（動体検知）が作動・検知したとき、点灯します。

※ 一番右側マークは未使用・未対応です。

## [E] : カメラグループ・リスト

本ソフトウェアに反映・登録されているカメラ一覧です。[【P23】-「1\)設備管理」](#)でカメラ名称の変更が出来ます。以下はリスト中の表示説明です。



## [F] : PTZ/プリセット

サポートされていない為、使用出来ません。

## [G] : 色彩

ライブ映像の色などを調整します。

ライブ映像上で色調整するカメラをクリックして選択状態にします。

上から、

- ① 明るさ      ② コントラスト      ③ 色相      ④ サポートされていない為、使用出来ません。

です。

「垂直反転」はライブ映像を上下反転、

「水平反転」はライブ映像を左右反転します。

「設定値の初期化」は色設定を初期状態に戻します。

## [H] : デジタルズーム

 : [N]ライブ映像上でこの機能を使用するカメラ映像をクリック選択（画面紫枠を移動・付与）してください。そして、左記アイコンをクリックして[N]のライブ映像の中で、デジタルズームさせたい場所をマウスドラッグすると、その部分がズームされます。  
戻すときはライブ映像の中で、クリックをしてから[H]をクリックしてください。

[I] : スピーカー・マイク

ES-CW620Fシリーズのみ使用

ライブ映像上でこの機能を使用するカメラ映像をクリック選択（画面紫枠を移動・付与）してください。



：スピーカーマークをクリックすると、スピーカーマークの×が消え、スライダーの音量ボリュームが有効になります。このスライダー音量とパソコン自体の音量ボリューム調整でカメラ内蔵の集音マイクで集音された音声を聞く事が出来ます。  
使用中は【P14】-[D]のスピーカーマークが点灯します。



：パソコンにマイクを接続し、これをクリックするとカメラ内蔵スピーカーから話した声を出力出来ます。  
使用中は【P14】-[D]のマイクマークが点灯します。  
【P29】-「●出力音量」で調整します。

[J] : ローカル録画・スナップショット

ライブ映像上でこの機能を使用するカメラ映像をクリック選択（画面紫枠を移動・付与）してください。



：現在操作しているパソコンのハードディスクにカメラ映像を録画します。  
設定・詳細は【P36】-「3)録画管理」をご覧ください。



：現在操作しているパソコンのハードディスクにカメラライブ映像をスクリーンショットします。  
クリーンショット画像の保存先設定は【P38】-「6)その他」をご覧ください。

[K] : ライブ映像操作

ライブ映像上でこの機能を使用するカメラ映像をクリック選択（画面紫枠を移動・付与）してください。



① ② ③

① 多画面分割表示

1・4・6・8・9・16・分割選択画面が表示されますので選択するとその分割画面に[N]ライブ映像が切り替わります。

② [N]ライブ映像最大サイズ化

③ [L部の表示／非表示を切り替えます。

[L] : 接続状態表示

現在、本ソフトの作動状況一覧です。

[M] : ポップアップメニュー

[N] ライブ映像で右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。

全画面表示 : モニター全域にライブ映像が表示されます。

自動調整 : ライブ映像画面比を自動調整します。

ショートカット : 使用しません。

非表示 : 選択状態のライブ映像（紫色の枠が表示されている画像）の映像を一時的に遮断します。  
映像を復旧するには、[E]の表示させたいカメラのUIDをWクリックします。

状態欄を表示 : [D]の表示ON/OFFを行います。

[N] : ライブ映像

本ソフトに反映されている、カメラのライブ映像です。

[O] : UID

映像表示しているカメラのUIDです。

[P] : カメラ型番

映像表示しているカメラの型番です。

（機種・バージョンにより異なる表示の場合があります。）

## 10. メインメニュー

【P14】-「9. ライブ映像画面・メニューの説明」[A]のアイコンのメインメニューの説明です。

### ① プレビュー



これをクリックすると、【P14】-「N：ライブ映像」画面が表示されます。

### ② 自動設備追加



パソコンにネットワーク的に接続しているカメラを、本ソフトに自動反映させます。

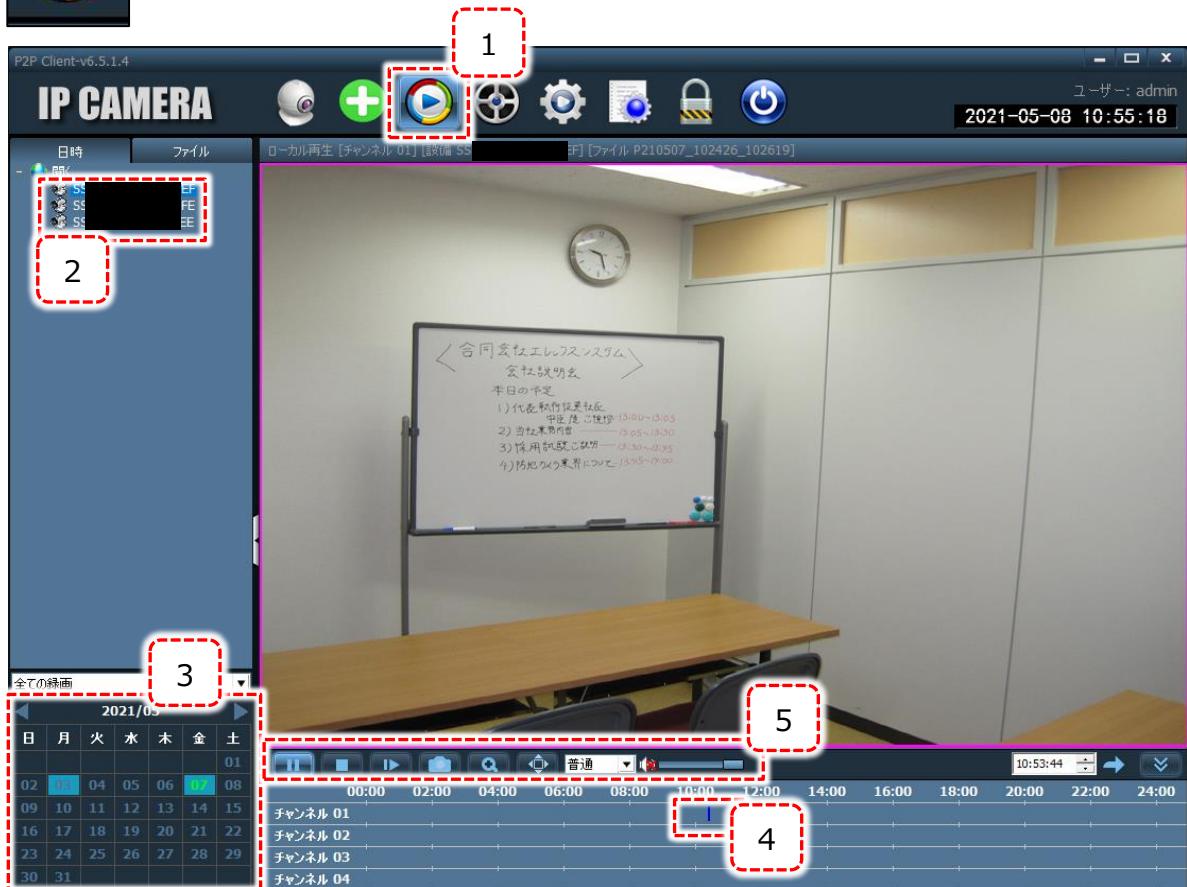
詳細は【P12】-「7. カメラ映像反映編：ソフト上へカメラ映像を反映させる（1台のみ）」をご覧ください。

### ③ ローカル再生



【P14】-[J] (左側カメラマーク)でローカル録画された映像を再生する事が出来ます。

以下に手順を説明します。



[1] : 「リモート再生」をクリックします。

[3] : ローカル再生する年月日を選択します。

[2] : ローカル再生するカメラを選択します。

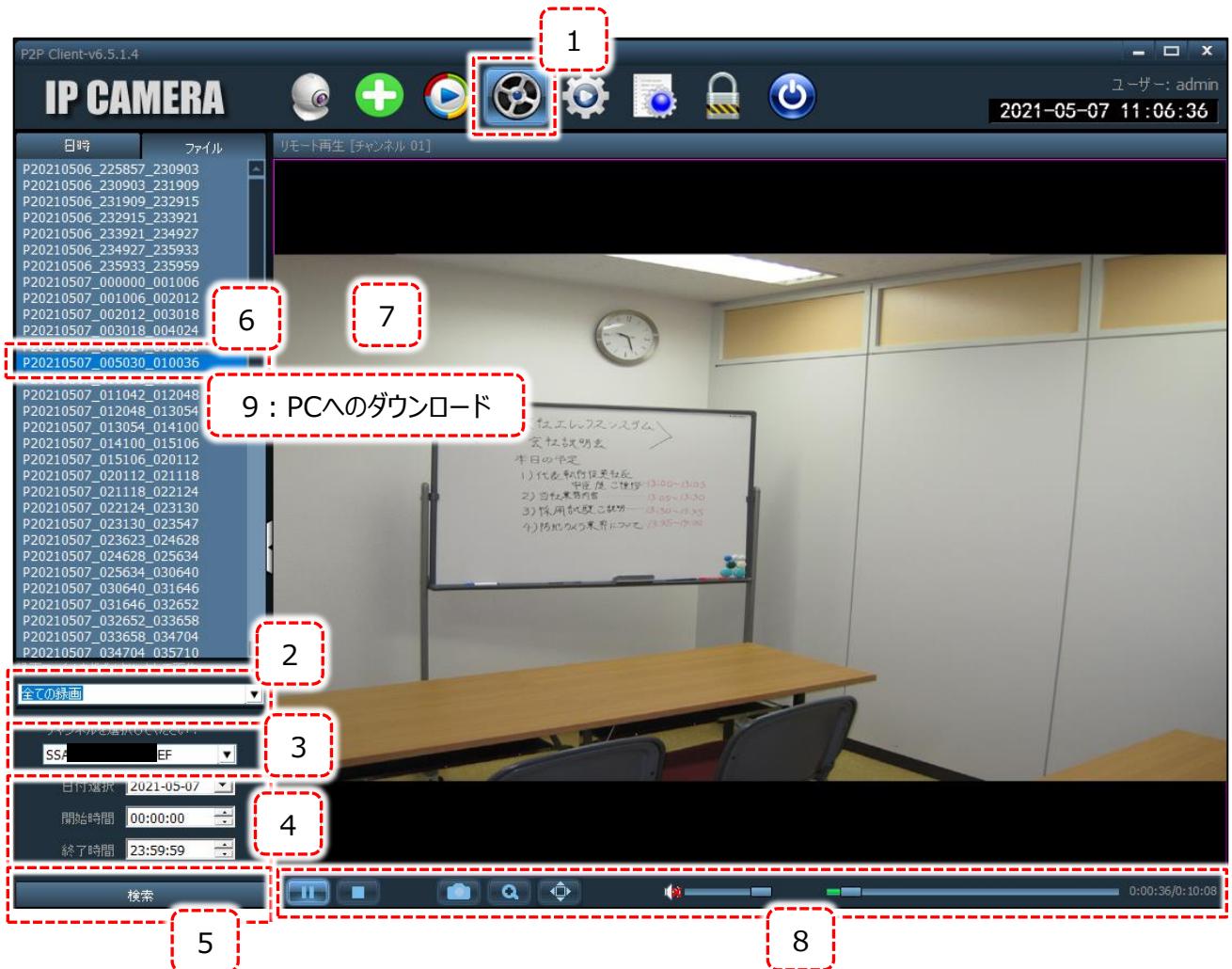
[4] : [3]に対して録画記録がある場合、このように青色明示されますのでこの部分をクリックすると、ローカル再生されます。

[5] : ローカル再生を操作するツールです。昨日詳細は【P20】-「8」をご覧ください。

#### ④ リモート再生



本機カメラに装着されているmicroSDカードに記録されている録画映像を再生、録画映像のパソコンへのダウンロードが出来ます。



[1] : 「リモート再生」をクリックします。

[2] : 録画形態種別を選択出来ます。

- ・ 全ての録画 全ての録画データを検索対象にします。
- ・ モーション録画 動き検知録画（動体検知録画）のみを検索対象にします。

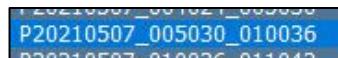
[3] : 本ソフトに接続・反映されているカメラの中から、録画データを見たいカメラを選択します。

[4] : 録画映像を見たい期間を設定します。年・月・日・開始時間・終了時間の5点を指定します。

[5] : 「検索」をクリックすると[2]～[4]で指定した条件の録画映像データを検索します。

[6] : 検索結果を表示する録画映像データの一覧表です。

上記写真例では



を選択しようとしてますが、このファイル名の意味ですが

P =	通常録画	(Aの場合はアラーム録画（動き検知録画など）)
2021 =	録画された西暦	
0507 =	5月7日	
005030 =	この録画映像データの録画始まり時間（00時50分30秒という意味）	
010036 =	この録画映像データの録画終わり時間（01時00分36秒という意味）	

になります。

この見方で、検索・抽出された録画データの中で更に見たい時間帯をWクリックします。

[7] : 録画映像が再生された映像が表示されます。

[8] : 再生映像を操作するツールになります。



録画映像の再生を開始します。



録画映像の再生を停止します。



録画映像の再生を一時停止します。



今現在[7]に表示されている瞬間をスナップショットして画像として保存します。

クリーンショット画像の保存先設定は【P38】-[6)その他をご覧ください。



これをクリックして[7]の中で、デジタルズームさせたい場所をマウスドラッグすると、その部分がズームされます。戻すときはライブ映像の中で、クリックをしてから同アイコンをクリックしてください。

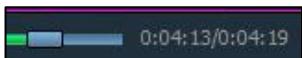


再生映像を最大サイズ化します。



ES-CW620Fシリーズのみ使用

録画映像で音声も録音されている場合、音声出力のON・OFF・音量操作です。



再生中の映像の時間を任意に推移・ジャンプさせるスライダーです。

[9] : 録画映像データは本ソフトを操作しているパソコンにダウンロードする事が出来ます。

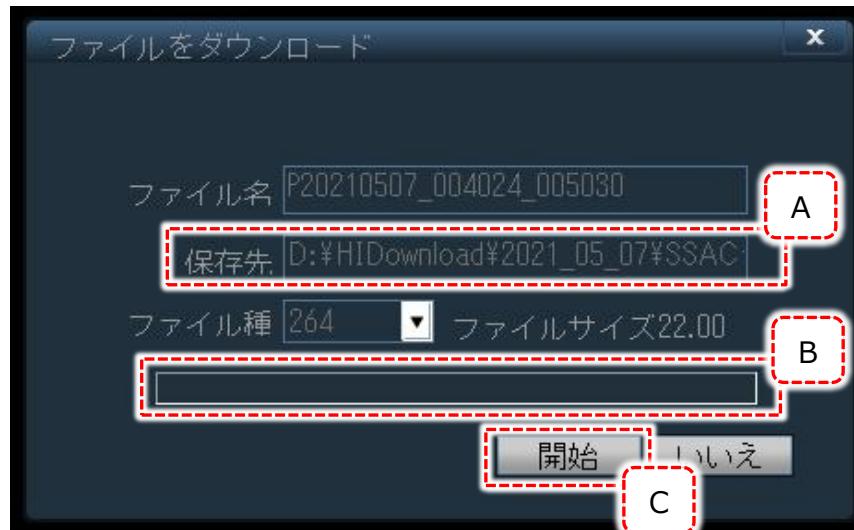
下記写真のようにダウンロードするデータをクリックしてください。

(複数ファイル指定する場合は、パソコンキーボードの[Ctrl]キーを押しながら、他ファイルをクリックしてください)

すると「ファイルをダウンロード」というポップアップが表示されますので、それをクリックしてください。



以下のウィンドウが表示されます。



この表示の中で[A]の保存先ですが【P36】-「3)録画管理」「7」のドライブ指定に連動します。

この「録画確認」のドライブ指定の中で

システムドライブとそうでないドライブ両方チェックボックス付与状態 = システムドライブが[A]に指定される  
システムドライブでないドライブのみにチェックボックス付与状態 = チェック付与のドライブが[A]に指定される

になります。

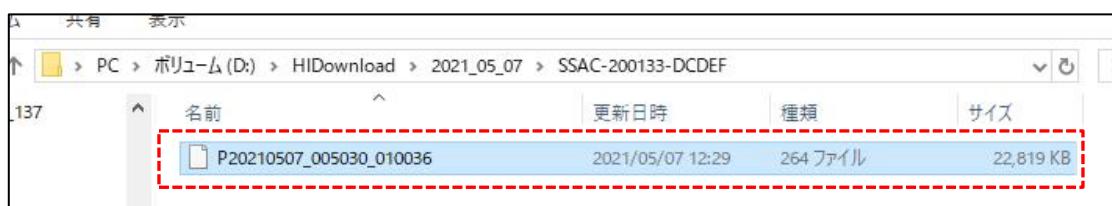
※ ドライブのあののパス名は

HIDownload\	= 固定
2021_05_07	= ダウンロードした日付
SSAC\...	= ダウンロード元のカメラUID

です。

これらを確認して[C]「開始」をクリックすると、ダウンロードが始まり[B]の青色メーターが進捗と共に左側に伸びていきます。

完了して、ダウンロード先のパソコンフォルダを見ると、録画データがダウンロードされています。



パソコン上での録画データ再生方法は【P42】-「12.再生ソフト「Player」で録画映像を再生する方法と使い方」をご覧ください。



## ⑤ 設定



録画設定などのスケジュール関係など、メイン設定に関わる部分の設定項目になります。

### 1) 設備管理

【P12】-「自動設備追加」の手動バージョン設定になります。

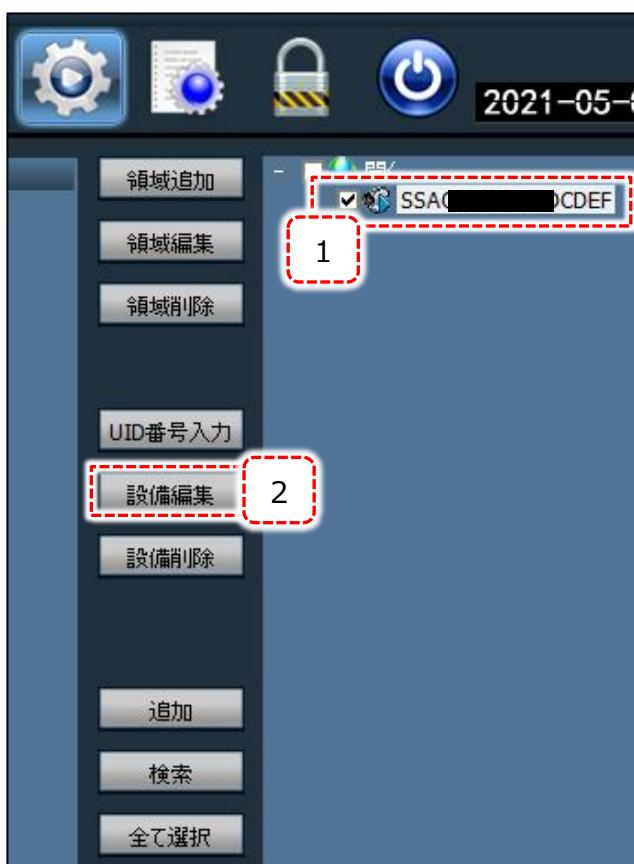
またここでの設定ではその他以下の2点の設定が主な役割になります。

- A) カメラ名称変更
- B) カメラリストからの削除

#### A) カメラ名称変更

【P14】[E]「カメラリスト」で表示されているのはUIDですがこれだと、カメラが複数台ある場合、識別し難いというデメリットがあります。

そこでカメラ名称を任意で変更する事が可能です。



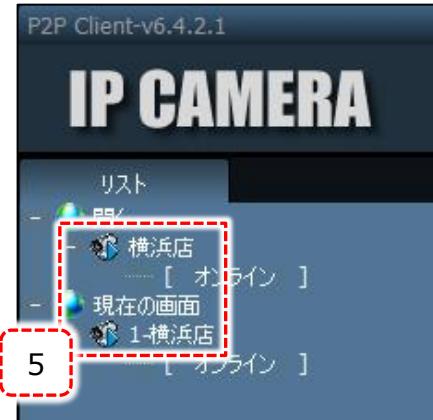
画面上部アイコン「設定（歯車マーク）」をクリックします。  
左写真のように

- [1]名称変更するカメラのチェックボックスにチェックを入れます。
- [2]「設備編集」クリックします。



[3]任意の名称を入力します。

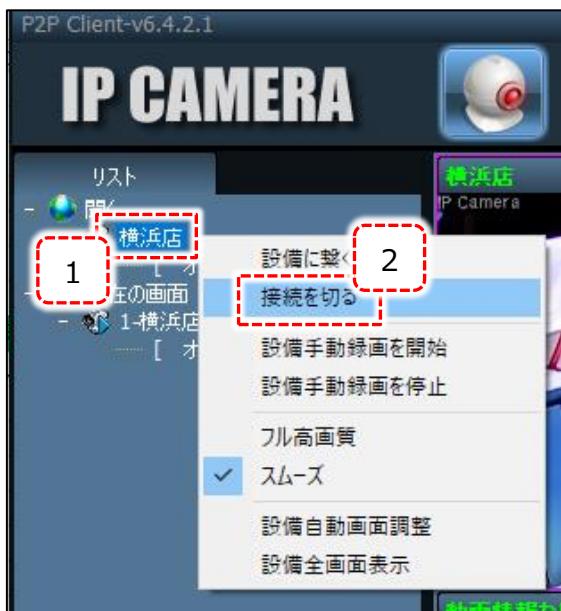
[4]「はい」をクリックします。



[P14]-「プレビュー」をクリックすると左写真のようにカメラリスト上のカメラリストに変更が反映されます。

## B) カメラリストからの削除

カメラリストから削除する方法です。

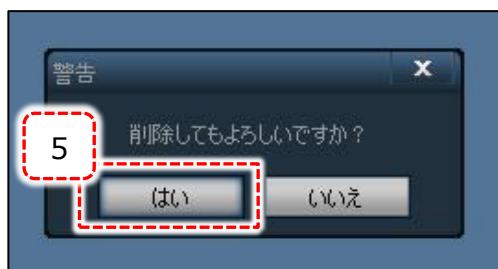


[1]カメラリストから削除しようとするカメラを右クリックします。

[2]「接続を切る」をクリックします。



- [3]削除するカメラのチェックボックスにチェック入れます。  
[4]「設備削除」クリックします。



- [5]「はい」をクリックします。  
これでカメラリストからカメラが削除されます。

## 2) パラメータ設定

「カメラライブ映像・録画映像」  
「動き検知（動体検知録画）」  
SDカードに関する設定項目です。  
この設定を行うには以下写真のよう[1]から[4]の順にクリックしてください。  
特に[3]のカメラは必ず選択してください。



### ● 映像設定

※ 設定を行うカメラを選択 ([P26][3]にて) してから各設定を行ってください。

#### ● エンコード

頻度

初期設定は50Hzです。万が一、ライブ映像がちらつく場合、  
60Hzに変更してみてください。

エンコード

通常「baseline」で設定してください。

## ● 録画パラメーター

ストリーム形式で「メインストリーム」「サブストリーム」で切替えて本項の設定を行います。  
通常は「メインストリーム」に切り替えて「メインストリーム」について設定してください。

- 解像度 通常「1920\*1080」です。  
(これは200万画素を意味し、ライブ映像と録画映像はこの設定値が反映されます)

- ストリーム形式 「メインストリーム」に切り替えて本項設定を行ってください。

- ビットレート 準画質設定的な値になりますが通常、初期設定値1000より変更しないでください。

この数字が多ければ多いほど、細かい映像が録画・ライブ映像表示されます。  
但し、SD消費量はこの値が高いほど多くなります。

- キーフレーム 間隔 通常、初期値の「50」で運用してください。

- レート制御モード 通常、初期値の「可変…」で運用してください。

- レート品質 画質設定です。  
1 = 最高 、 6 = 最低 です。  
但し、SD消費量はこの値が高いほど多くなります。

## ● OSD設定

- OSD日時 ライブ映像上に日時表示をON/OFFかの設定です。

- OSD名称 ライブ映像上にカメラ名称をON/OFFかの設定です。

- OSD名称 任意のカメラ名称を入力します。  
(初期設定ではカメラ型番が割り当てられています)

● 画像設定

※ 設定を行うカメラを選択 ([P26][3]にて) してから各設定を行ってください。

● 画像表示

- ワイドダイナミック 映像内に明るい場所・暗い場所があった場合、自動的に調整する設定です。

チェックボックスを入れた状態で有効です。

ドロップダウンリストの数字は高い値程、調整強度が増しますが逆に映像が乱れる場合は数値を下げてください。

- 露出モード

通常は「自動」で設定してください。

- 画像優先モード

通常は「フレーム優先」で設定してください。

- 赤外線ライトモード

本機カメラは設置環境が暗いと判断した時、映像を白黒にして本機カメラより赤外線LEDを発光します。

本機カメラが設置環境が暗いと判断した時の動作を設定します。

自動 : 映像は白黒に切替る

ON : 設置環境に関係なく白黒映像を保持

OFF : 設置環境に関係なくカラー映像を保持

赤外線LEDのON/OFFは設定出来ません。

映像が暗いまたは薄暗い場合は、カメラ特性より映像は白黒の方が被写体を鮮明に映し出します。

- インテリジェントナイトモード

本機カメラは設置環境が暗いと判断した時、映像を白黒にして本機カメラの赤外線LEDを発光します。

本機カメラが設置環境が暗いと判断した時の動作を設定します。

普通の夜目 : 通常はこちらを設定  
(白黒映像)

カラーナイト : 夜間でもカラー映像  
(カラー映像)

インテリジェントナイトモード : 普通の夜目よりやや鮮明  
(白黒映像)

- 純白の光制御

使用しません。

- スマート追跡

使用しません。

## ● 音声設定

**※ 設定を行うカメラを選択 ([P26][3]にて) してから各設定を行ってください。**

カメラ内蔵の集音マイク及び音声出力スピーカーの音量設定に関する項目です。

**ES-CW620W**  
シリーズのみ使用

### ● ストリーム形式

音声を操作する映像ストリームを選択して以下の設定を行います。

通常は「メインストリーム」について設定してください。

### ● 音声収録

カメラ内蔵の集音マイク機能のON/OFFを設定します。

対応シリーズカメラは自動的に録音もされていますが、ここでOFFにすることにより、録音もOFFになります。

### ● 音声圧縮方式

通常「G711」のまで運用してください。

### ● 音声入力方式

通常「マイク入力」のまで運用してください。

### ● 入力音量

音声収録が「ON」の場合、カメラ内蔵の集音マイクのベース音量ボリュームになります。

数値が多いほど、音量は大きくなります。

### ● 出力音量

音声収録が「ON」の場合、マイク音声の音量ボリュームになります。

数値が多いほど、音量は大きくなります。

## ● 警報設定

**※ 設定を行うカメラを選択 ([P26][3]にて) してから各設定を行ってください。**

動き検知（動体検知）なアラーム系動作設定を行います。

### ● 動き検知

#### ○ 動き検知

映像上に何か動きがあった場合の検知のON/OFFの設定です。  
動き検知させる場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。  
変更内容を保存するには直近の「適用」をクリックしてください。

※ 動き検知録画の設定方法は【P49】をご覧ください。

#### ○ 感度

動き検知感度の設定です。通常は「普通」で設定してください。

※ 動き検知録画の設定方法は【P49】をご覧ください。



動態検知作動条件は  
【P48】-「動態検知作動条件」  
ご注意 をご確認ください。

### ● スマートアラーム（ヒューマンノイドアラーム）

#### ご注意

「動体検知系設定」と同時使用は出来ません。

動態検知は映像上に何か動きがあった場合に検知する方式ですが、これに対しスマートアラームは、人間のみを検知します。以下は設定方法です。

#### ○ スマートアラーム

本機能のON/OFFを設定します。

#### ○ 人間の形を作る

当設定を反映させたい場合は、ONに設定してください。

#### ○ アラーム形成

通常は「連合」を設定してください。

- 音声アラーム 使用しません。
  - 外部アラーム 使用しません。
  - アラーム運動 ※ 設定を保存・反映させるには「適用」をクリックしてください。  
本項目設定で「●動き検知」「●スマートアラーム」の設定が有効・作動した場合  
本機カメラがどのような動作を行うかの設定です。



- メールに画像を添付して送付  
詳しく述べは【P50】-「17. 本機カメラアラーム作動時における画像送信機能の設定方法」をご覧ください。
  - FTPサーバーに画像を保存  
任意でサーバー箇所を指定して、画像を保存します。
  - FTPサーバーに動画を保存  
任意でサーバー箇所を指定して、動画を保存します。
  - 中継器出力  
使用しません。
  - SDカードに画像を保存  
上記の【P29】-「●動き検知」をONの場合、本機カメラが動き検知した場合、カメラ内蔵させているmicroSDカードに動き検知した瞬間の画像を保存します。  
※ 動き検知録画の設定方法は【P49】をご覧ください。
  - SDカードに動画を保存  
同上でこの設定は動画を保存します。  
※ 動き検知録画の設定方法は【P49】をご覧ください。
  - 警報音  
**ES-CW620Wシリーズのみ使用**  
警報音（サウンドより3種類のうち1つ選択）を本機カメラのスピーカーより出力します。  
持続時間で警報音の鳴動時間を設定します。
  - アラームプリセット  
使用しません。
  - アラーム日時  
上記で設定したアラーム関連の設定を「毎週何曜日の何時に作動させるか？」という設定を行います。  
マウス右ドラッグで作動曜日時間を緑色に塗ります。  
緑色を解除したい場合はマウス右クリックします。  
設定を反映させたい場合は直近の「はい」をクリックします。  
※ 動き検知録画の設定方法は【P49】をご覧ください。

## ● ネットワーク

※ 設定を行うカメラを選択 ([P26][3]にて) してから各設定を行ってください。

ここでは本ソフトで接続・反映しているカメラのIPアドレスなどのネットワーク情報を確認する事が出来ます。本項目設定項目は殆どの場合、IPアドレスの変更・確認がメインになります。  
ここではIPアドレス変更方法を説明します。  
まず、以下のように項目選択してください。

画面上部の「設定（歯車マーク）」をクリック → 左サイドメニュー「パラメータ」クリック  
→ 「パラメータ」右横のカメラリストのIPを変更するカメラをクリック[1] → 「ネットワーク」クリック[2]



※ 本項目設定項目の「RTSPポート」「ONVIF」の説明は割愛致します。

[3] 両方のチェックボックスを外します。

[4] 変更後の値を入力します。

[5] 記載の通りの数値を入力します。

[6] 「適用」をクリックします。  
入力値が適正だった場合、「設定成功」の旨の表示がポップアップ表示します。

### ● IPアドレス変更に伴うルール・考え方

IPアドレスは以下のように分類して考えます。

(初心者の方向けのご説明になります。中～上級者の方は読み飛ばしてください。)

192.168.1.88 → 192 = 変更不可  
168 = 変更不可  
1 = セグメント（グループ番号とお考え下さい）  
88 = ホスト（グループ番号直下の枝番号とお考えください）

#### ○変更ルールその1

[P9]-[2]でパソコンのIPアドレスを決めましたが、ここでセグメントは「1」です。従ってカメラ側IPアドレスのセグメントはすべて「1」でなければなりません。セグメントを「2」にする場合は、本ソフトに関係する機器のセグメントはすべて「2」に変更する必要があります。

#### ○変更ルールその2

ホストは

- 1)本ソフトに関係する機器のホストは重複してはいけません。
  - 2)上記の「ゲートウェイ」「優先・代替DNS」と重複してはいけません。
  - 3)強制ではありませんが概ね10～249の間の値を選定する。
- この3つすべての条件を満たす必要があります。

この2つのルールを基準にIPアドレスを決定します。

● SDカード

※ 設定を行うカメラを選択 ([P26][3]にて) してから各設定を行ってください。

カメラに内蔵したmicroSDカードへの録画仕様を設定します。

● スケジュール

録画を有効に

録画ON/OFFの設定です。

必ずON（チェックボックスにチェック）状態にしてください。

● ストリーム形式

「メインストリーム」を選択してください。

● 録画長さ

録画ファイル 1 ファイルの長さ（時間）を設定します。

通常 1 ファイル600秒（10分）です。

● SDカード合計容量

カメラに内蔵させたmicroSDの最大容量が表示されます。

● SDカード空き容量

今現在の空き容量が表示されます。

● フォーマット

カメラに内蔵させたmicroSDを初期化します。

● 録画スケジュール  
(グラフ)

録画を「毎週何曜日・何時」に行うかどうかの設定です。

マウス右ドラッグで録画日時間を緑色に塗ります。

緑色を解除したい場合もマウス右ドラッグです。

設定を反映させたい場合は直近の「適用」をクリックします。

● 定時スクショ

※ 設定を行うカメラを選択 ([P26][3]にて) してから各設定を行ってください。

カメラ内microSDカードまたはFTPサーバーへ、設定した秒間隔でカメラ画像をスクリーンショットして保存します。

● SDカードに画像を保存

チェックボックスにチェックを入れると、カメラ内microSDカードへ、設定した秒間隔でカメラ画像をスクリーンショットして保存します。また

「SDカードにスクショ間隔」

で設定した秒数感覚でスクリーンショット画像がmicroSDカードへ保存されます。

● FTPサーバーに画像を保存

同上で保存先はFTPサーバーになります。

● PTZ

使用しません。

● 登録情報

※ 設定を行うカメラを選択 ([P26][3]にて) してから各設定を行ってください。

本機カメラのカメラパスワードを変更することができます。

## ● システム

※ 設定を行うカメラを選択 ([P26][3]にて) してから各設定を行ってください。

### ● 時刻設定

- ネットワーク時刻同期(NTP)

下記3項目設定をON/OFFなのかを設定します。

- NTPサーバ

本機カメラが最終的にルーターに接続されている場合、外部機関のNTPサーバーを選択し、そのサーバーと時刻同期させます。

- 同期間隔

同期させる間隔を設定します。「1」記載の選択項目は間隔1時間を意味します。

- タイムゾーン

本機カメラが設置されている場所を設定します。  
「UTC +8:00 大阪・札幌・東京」  
を通常選択してください。

### ● 設備情報

本ソフトに接続されているカメラ情報です。

## ● 無線接続

※ 設定を行うカメラを選択 ([P26][3]にて) してから各設定を行ってください。

**ES-CW620W**

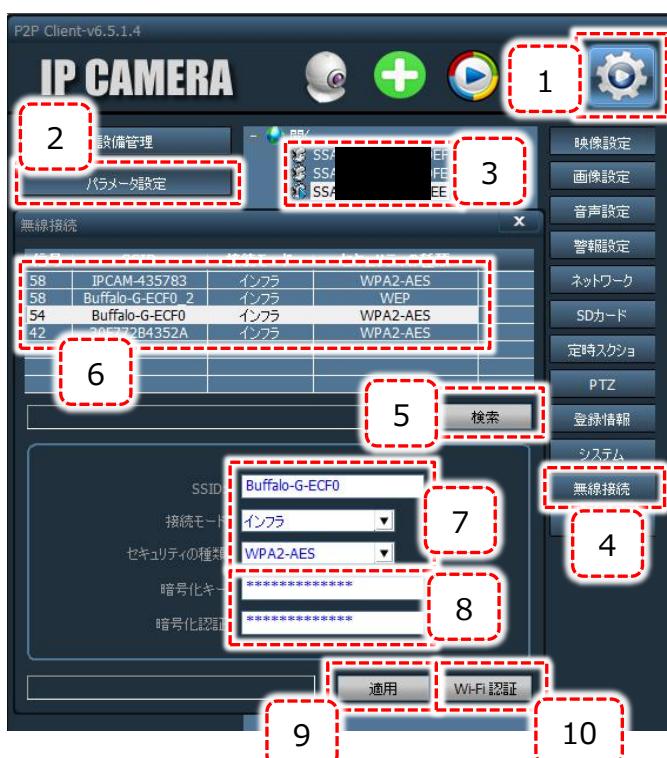
**ES-CD620W**

シリーズのみ使用

本ソフトに接続・反映されているカメラの中で、左記シリーズのカメラがある場合、これを無線ルーターへWi-Fi接続する設定です。

但し、本ソフトへ接続してあるネットワーク状態はローカル接続である事が前提です。

以下にその手順の説明です。



[1]→[2]→[3]（該当シリーズカメラの選択）  
→[4]→[5]

の順でクリックすると、[6]に[3]で選択したカメラが検知しているWi-Fi(SSDI)が表示されています。

ここで、使用可能なSSDIをクリックすると、[7]に情報が自動的に入力されます。  
[8]に選択したSSDIに対するパスワードを入力します（パスはルーター裏記載）。

上段と下段に同一のパスワードを入力します。  
[9]をクリックして入力情報が適正だと

「設定に成功しました！」と表示されます。

[10]をクリックすると、カメラと無線ルーターの紐付けが開始されます。

紐付けが完了すると  
「WiFi設定に成功チェックを入れてください！」  
と表示されれば設定成功です。

**この直後、カメラのLANケーブルは抜いてください。**

この時点での接続ルートは

設定前 カメラ → LANケーブル → パソコン（本ソフト）

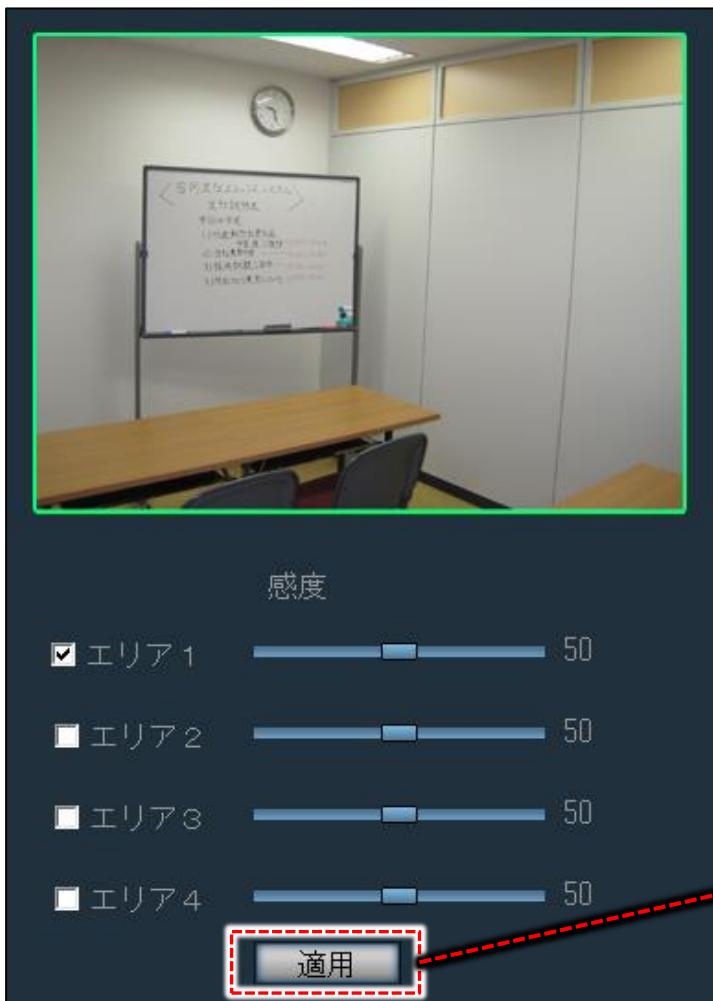
設定後 カメラ → WiFi電波 → 無線ルーター → パソコン（本ソフト）

になります。

● 動き検知

※ 設定を行うカメラを選択 ([P26][3]にて) してから各設定を行ってください。

動き検知録画（動体検知録画）を行うにはこの項目の設定の他、いくつかの設定も組み合わせる必要がありますので、詳しくは【P46】-「16. 動き検知録画（動態検知録画）設定方法」をご覧ください。



動き検知エリアの設定を行います。

カメラ1台（1映像に付き）4カ所、検知エリアを設定できます。

エリア1～4のチェックボックスの何れかにチェックを付与すると、上部カメラ映像に緑枠が表示されます。

この緑枠の右下端にマウス矢印を合わせると、マウス矢印が両矢印に変わります。

この状態でマウスクリックでドラッグすると、緑枠を拡大・縮小出来るので、これで検知エリアを設定します。

また「感度」は検知エリア内で動き検知する強度を設定します。

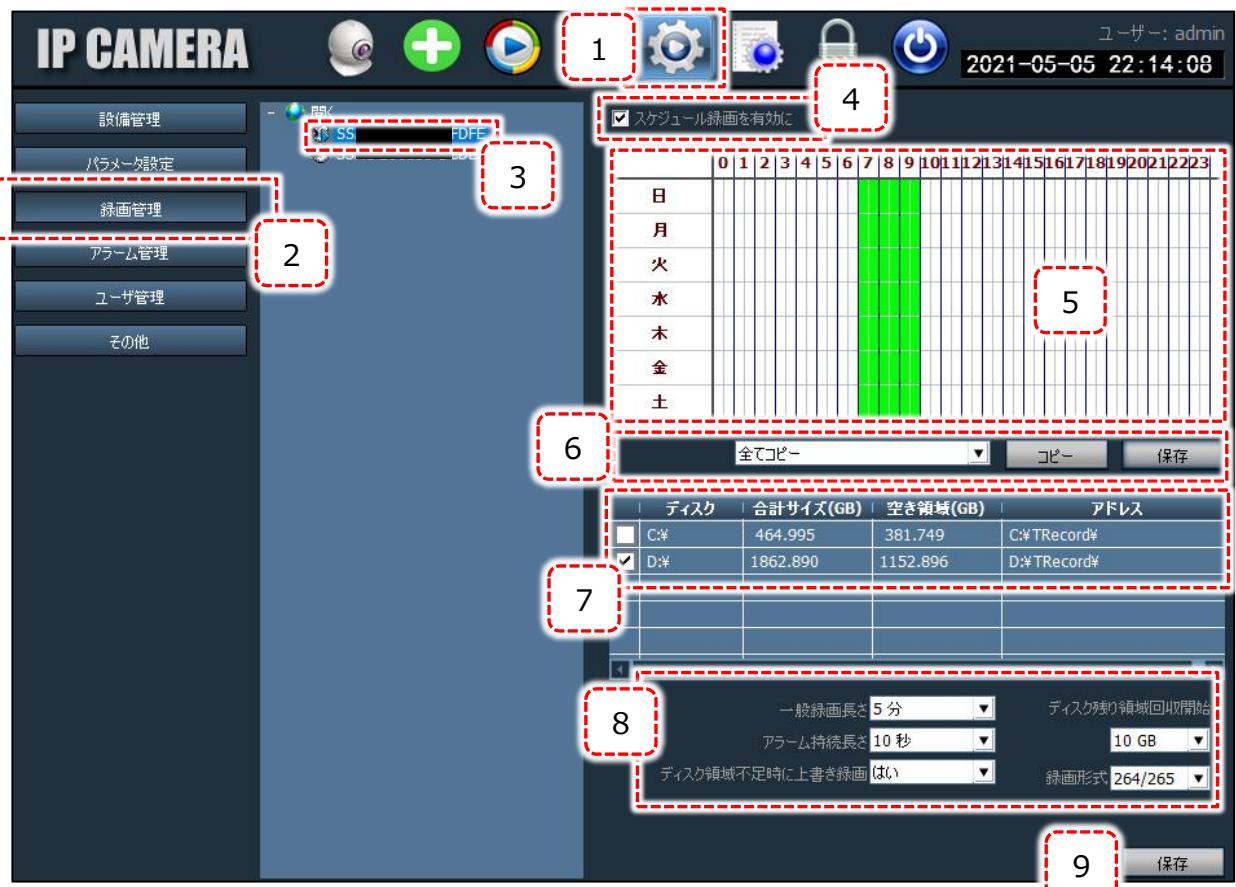
通常は「50」で運用してください。

最後に「適用」をクリックして保存します。



### 3) 録画管理

本ソフトを操作しているパソコンのハードディスクに本機カメラ映像を録画（ローカル録画）する設定です。  
以下写真より、設定手順の説明です。



[1]→[2]→[3]（設定するカメラ選択）→[4]（スケジュール録画を有効に：チェックボックスにチェック付与）

[5] : ここでローカル録画を行う時間帯を設定します。

マウスの左ドラッグで緑色で塗られる部分がローカル録画する時間帯です。

上記写真例では

日曜日～土曜日（毎日）の7時～9時までローカル録画を行う

という設定になります。

[6] : ドロップダウンリストより「全てコピー」を選択して「コピー」をクリックすると、すべてのカメラに今現在設定している[5]をコピーする事が出来ます。  
そして「保存」をクリックすると設定保存出来ます。

[7] : どこのローカルディスクに保存するかを設定します。  
上記写真例では「D:¥」に保存する設定になります。

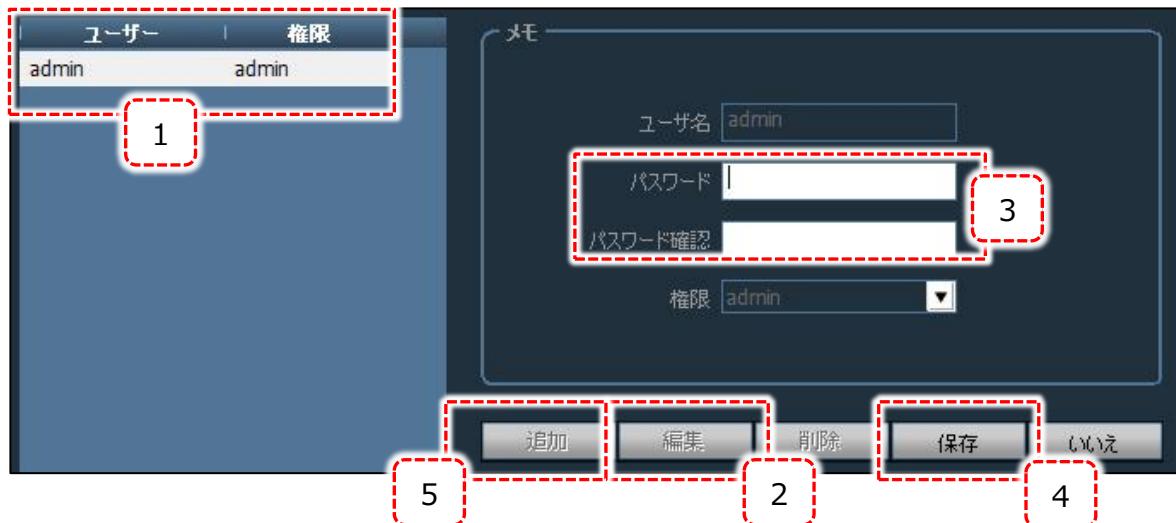
[8] : ○ 一般録画長さ 録画ファイル 1 ファイルの長さになります。  
 ○ アラーム保持長さ 使用しません。  
 ○ ディスク領域… [7]で設定したHDDが満タンになったとき、上書きするか否かを設定します。  
 ○ ディスク残り… ローカル録画しようとするHDDの容量・範囲を決めておきます。  
 ○ 録画形式 通常は「264/265」を設定してください。

#### 4) アラーム管理

動き検知時などのアラーム系作動したとき、パソコンにローカル録画をする機能です。

#### 5) ユーザー管理

本ソフトウェアのログインパスワードを変更したり、操作制限ユーザーを追加したりします。  
ここでは、通常で使用するadminユーザーでのパスワードの変更方法です。



- [1] : adminユーザーをクリックします。
- [2] : 「編集」をクリックします。
- [3] : 新しいパスワードを「password」「password確認」に入力します。
- [4] : 「保存」をクリックします。

ユーザー名変更を行うには[5]をクリックしてユーザー名より以下を選択します。

admin : 操作制限は一切ありません。  
user : 設定変更などが出来ません。  
guest : 操作制限は本項設定のみです。

そして[3][4]と操作してください。

## ⑥ その他

通常、設定・変更せずに運用してください。また下記写真点線枠の「スクショ保存先」ですが、

- ① [\[P14\]-「9. ライブ映像画面・メニューの説明」\[J\]内カメラマーク](#)
- ② [\[P19\]-「8】内カメラマーク](#)

でのスクリーンショット時の画像の保存先になります。

保存先に自動的に「Snap」フォルダが自動生成され、その中に画像が保存されます。



## ⑥ ログ



### 【上級者用項目】

本ソフト上での操作・システム・アラーム作動状況の履歴を表示します。

## ⑦ ログアウト



ログアウトするアイコンです。

## ⑧ システム終了

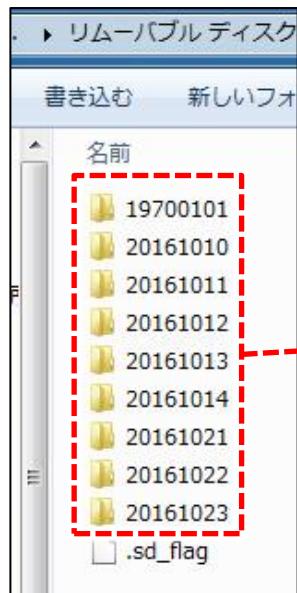


本ソフトウェアを閉じます。

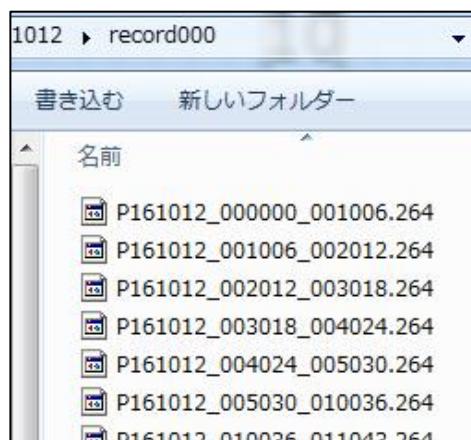
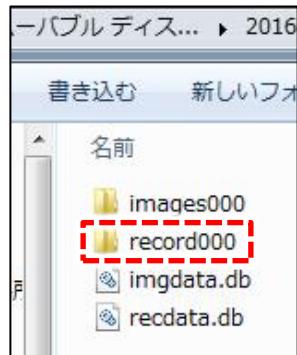


## 11. カメラからmicroSDカードを抜いて、カード内保存先をパソコンで確認する方法

本機カメラからmicroSDカードを抜いてパソコンに接続するまでの工程は、別紙説明書「設置工事編」をご覧ください。ここではmicroSDカードをパソコンで認識してから録画再生データの保存先確認の説明です。  
microSDカードを別売のUSBアダプタを使ってパソコンに接続し、そのドライブを選択クリックしてください。



フォルダ名は  
・西暦  
・月  
・日  
で構成されている。



●ファイル名の記録開始または記録終了時刻と「更新日時」は基本一致しません●

下記写真（本機カメラで録画したmicroSDカードをパソコンでフォルダを開いた画面）をご覧ください。



ご注意

名前	更新日時
P161013_234716_235722_264	2016/10/13 15:57
P161013_2355959.264	2016/10/13 15:57

A

B

[A]は録画ファイルで、

23時47分16秒録画開始 \_ 23時57分22秒録画終了

を意味します。しかしこれに対してファイル書き込み時刻（更新日時）[B]は15時57分で[A]と[B]は一致していません。

これは[A]は本機カメラの内臓時刻である「現在日時」を書きこんでありますが、[B]は本機カメラのサーバー機能自体の時刻（システム内部時刻）を明示している都合上です。

従って目視でファイルを検索する場合は、[A]を基準に探してください。

また[B]は調整などを行う事が出来ません。

[A]のファイル名の各文字の意味は【P63】-「●ファイル名の意味●」をご覧ください。

これらファイルの再生方法は【P42】の次項をご覧ください。

## 12.再生ソフト「Player」で録画映像を再生する方法と使い方

「Player」は本ソフト「HiP2P Client」をインストールした時点で自動的に同時インストールされています。  
次に、

- ① microSDカードの中に記録されている録画映像データ  
録画映像データ保管場所フォルダについては【P40】参照
- ② 本ソフト「HiP2P Client」でパソコンにダウンロードした録画映像データ  
録画映像データ保管場所フォルダについては【P21】-[A]参照

の2通りがあります。

このファイルに対して、「Player」の紐付設定を行います。  
**尚、この紐付け設定はパソコン毎に1回行えば有効です。**

何れも任意の録画映像データを右クリック → プロパティ

の順番でクリックしてください。



「変更」をクリックしてください。

「推奨されたプログラム」  
または  
「ほかのプログラム」  
より、

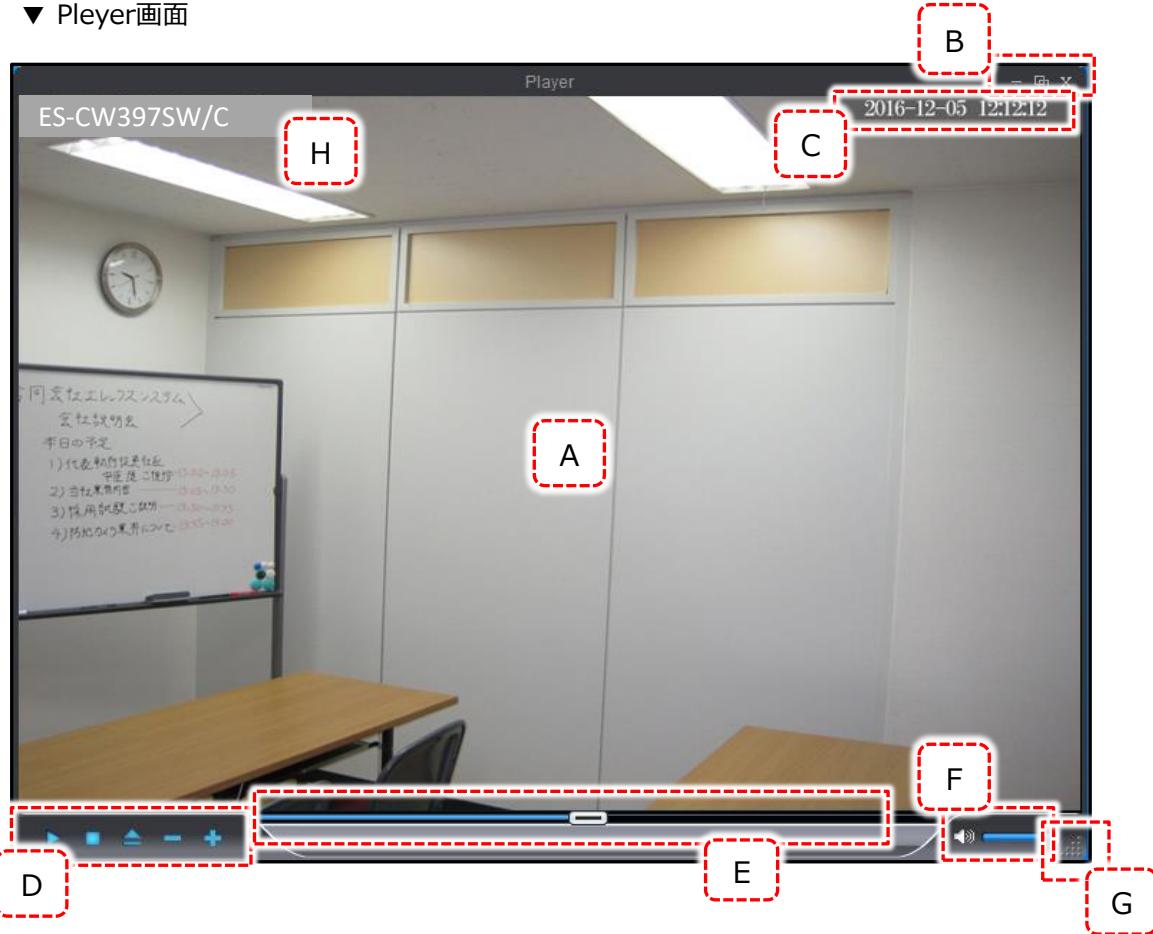


を探してください。  
これをクリックし、「OK」を  
クリックします。

再度、1つ前の画面に戻ります  
ので「OK」をクリックしてください。

この設定を行う事により、都度再生ソフトを開かなくても、ファイル単体をWクリックするだけで録画映像が再生されます。  
**尚、この紐付け設定はパソコン毎に1回行えば有効です。**

▼ Player画面



[A] : 再生映像

再生映像が表示されています。

[B] : 再生ソフト画面コントロールパネル

左より、

- 画面最小化ボタン
- 画面最大化ボタン
- 再生ソフト閉じる・ボタン

です。

[C] : 録画記録時間

本機カメラライブ映像上で現在日時を表示しています。

それをそのまま録画していますので、再生ソフト上ではそのままタイプスタンプとして表示されています。  
再生ソフトで再生すると当然時間は進みます。

[D] : 録画映像再生コントロールパネル

左より、

- 再生／再生開始ボタン
- 再生停止ボタン
- ファイル読み込ボタン（別録画映像ファイルを再生する場合使用）
- コマ送り再生ボタン
- 倍速再生ボタン

です。

[E] : 再生スライダー

マウスでスライダー部の□部分を左右にドラッグすると、それに応じた箇所まで再生部分がジャンプされます。

[F] : 音量ボリューム

*ES-CW620Wシリーズのみ使用*

録音もされている場合、ボリュームを上げれば音声を聞く事が出来ます。

[G] : 画面調整

マウスドラッグすると、画面の大小を詳細に調整出来ます。

[H] : カメラタイトル表示

【P27】-「OSD名称」で設定したカメラタイトルが表示されます。

初期設定ではカメラ型番が設定されています。

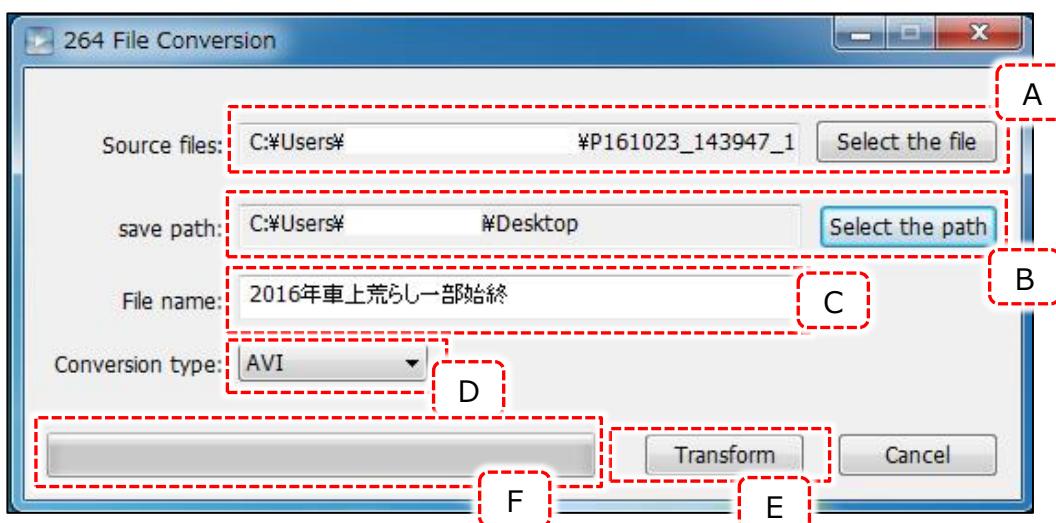
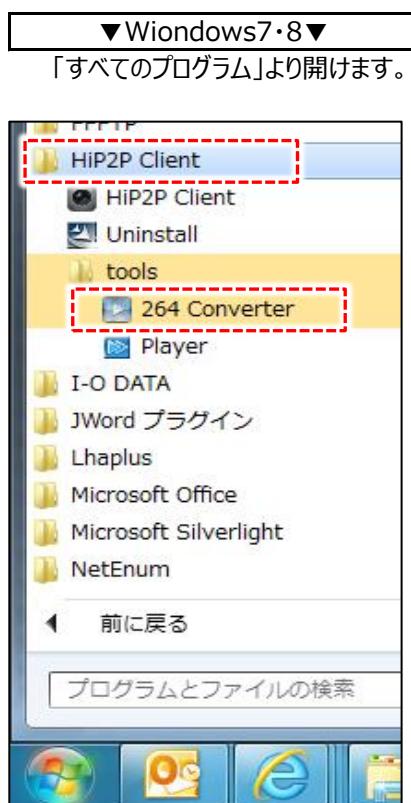
### 13.録画映像データを他再生ソフトでも使用出来るようにする方法

有事が確認された映像は場合によっては、警察に提出したりまたは永久保存として保管される場合もあると思います。この場合は、録画映像ファイルをWindowsMediaPlayerなどでも再生出来る汎用ファイル（AVIファイル）に変換することをお勧め致します。

本機カメラで録画した映像ファイルは汎用形式ではない為、専用再生ソフトがなければ再生出来ません。その為、汎用ファイルのAVI形式に変換する事により、他再生ソフトでも再生出来るように変換します。

「264 Converter」というソフトを使用して汎用化しますが、本ソフト「HiP2P Client」をインストールした時点で自動的に同時インストールされています。

まずソフトを起動します。  
起動方法は以下の通りです。



[A] : 「Select the file」をクリックして変換するH264ファイルを選択します。

[B] : [A]で選択したファイルを変換後、どこに保存するかを「Select the path」をクリックして選択します。

[C] : ファイル変換後のファイル名を任意で決定します。

[D] : 変換後のファイル形式を選択しますが、必ず「AVI」を選択してください。

[E] : 変換実行ボタンです。

[F] : 変換の進捗度バーです。



左写真の画面が表示されたら変換完了です。  
「OK」をクリックして、ソフトも閉じてください。

## 14. microSDカード容量と設定からの録画日数について

録画画質設定と使用するmicroSDカードの容量により、録画日数は異なります。

録画画質設定を変更する場合は、下記表を参考に設定してください。

解像度設定	画素数 画面比	画質 全6段階 3~6省略	1秒間の 録画枚数 全1~30	microSDカード容量別・録画日数目安値		
				標準付属品		別売品
				32GB	64GB	128GB
1920×1080	200万 16:9	1:最高	20	2.6	5.2	10.3
			15	2.8	5.6	11.2
			10	3.1	6.1	12.2
		2:高	20	4.0	8.0	12.0
			15	4.5	9.0	13.5
			10	5.0	10.0	15.0

- 上記録画日数は目安です。人通りの量などの情報量で変動します。
- また上記録画日数は映像上に常時何らかの動きが1日のうち12時間はあるという想定の積算です。
- 色塗り箇所は出荷時設定による録画時間です。
- 配信レート（ビットレート）は1,000kbps統一の積算です。
- 1秒間の録画枚数は1~25枚迄設定可能ですが、上記では10~20枚以外は省略しています。
- 自動静止画キャプチャーを設定すると上記録画日数は下がります（静止画分容量消費する為）。
- 動き検知録画を使用すると、動きがある時だけの録画なので足掛け録画日数は増えます。

## 15. 動き検知録画（動態検知録画）作動条件

動態検知または動態検知録画は以下の条件の動態状況で作動します。

動態検知録画設定は次項【P49】をご覧ください。

### ●動体検知録画

当カメラの動体検知録画機能は、映像上で何も動きが無い場合は

**録画停止状態が続きます。**

映像上で何か動きがあった場合、

**録画を開始します。**

**当然、動体検知録画ではなく常時録画も可能です。**

#### ●本機カメラから動体検知の有効距離●

検知距離	小刻み動作 の場合	歩行などの 極端動作	車両など の走行
0m以上 2m未満	○	○	○
2m以上 5m未満	○	○	○
5m以上 8m未満	×	○	○
8m以上 20m未満	×	×	○

※検知感度レベルは最大値100の場合

**結果、SDカードのメモリの節約により録画の足掛け日数増大！**

動体検知録画は以下の構成になります。

- 一度検知し、録画がスタートすると12秒録画を行います。
- 連続の動体検知は継続して録画を行います。そして最後に検知してから12秒後に動体検知が終わります。
- microSD カードのファイルは1ファイル12秒になります。



上の表は目安値です。

設置環境（明るさなど）により、  
検知レベルは異なる場合があります。

ご注意 設置環境毎の事前テストの上、  
本設をお願い致します。

## 16. 動き検知録画（動態検知録画）設定方法

動き検知録画は基本的に、

- 通常録画は行わない。
- 映像上に何か動きがあった場合のみ録画する。  
※動き検知条件は【P48】参照。

という動作を行います。本項ではこの設定方法の説明です。



[1] → [2] → [3]「設定しようとするカメラ選択」→ [4] の順でマウス操作・クリックしてください。

[5] 「動き検知」のチェックボックスにチェックを付与します。  
「感度」は「普通」を選択してください。  
直近「適用」をクリックします。

[6] 必ず両方「OFF」にしてください。  
直近「適用」をクリックします。

[7] 「SDカードに動画を保存」のチェックボックスに  
チェックを付与してください。  
直近「適用」をクリックします。

[8] 「SDカード」をクリックし、「スケジュール録画  
を有効」のチェックボックスを外します。  
直近「適用」をクリックします。

[9] 「動き検知」をクリックします。【P34】-「動き検知」をご覧ください。

- 一度検知し、録画がスタートすると1~4秒録画を行います。
- 連続の動体検知は継続して録画を行います。そして最後に検知してから1~2秒後に動体検知が終ります。
- microSDカード内のファイルは1ファイル1~4秒になります。

## 17. 本機カメラアラーム作動時における画像メール送信機能の設定方法

【P30】-「●アラーム連動/○メールに画像を添付して送付」の設定方法の説明です。

この機能は、本機がアラーム作動（動き検知など）したとき、その瞬間のカメラ映像をスクリーンショットして、自動的に指定したメールアドレス先に画像を送る事が出来ます。

この機能を使用するには、以下の条件が必要です。

- ・ 【P31】-「IPアドレス変更に伴うルール・考え方」のように、パソコン・カメラがルーターのセグメントになっている事。
- ・ パソコンとカメラがルーターに接続されている事（ホスト重複もなくネットワーク的に適正に接続されている事）。
- ・ 【P49】により動き検知録画設定が確実に設定・機能している事。

の3点をクリアして、ネットワーク的に正常にルーターに接続されている事が必須条件です。

この条件がクリアしている前提で、以下設定例です。

この設定項目の「E-mail設定」をクリックすると以下入力設定ウィンドウが開きます。



※ 設定入力後は「検証」をクリックして試験してください。  
その後「適用」で設定内容を確定・保存してください。

ここで例はyahooのフリーメールを使用して設定例をご紹介します。

- ・ SMTPサーバー  
利用先メールサーバーを指定します。
- ・ サーバーポート  
利用先サーバーポートを指定します。
- ・ ユーザー名  
登録済みのyahooメールアドレスを入力します。
- ・ パスワード  
登録したyahooIDに対してのパスワードを入力します。
- ・ 受信先  
画像を送付したいメールアドレスを入力します。
- ・ 送信先  
差出人メールアドレスを入力します。
- ・ 件名  
メールタイトルを入力します。
- ・ メモ  
本文を入力します。

## 18.スマートフォン端末からのアクセス・遠隔監視方法

本機カメラをルーターに接続すれば、外出先からもアクセス・遠隔監視が可能です。  
この説明は、別紙説明書「SDカード録画カメラスマートフォンアクセス操作編運用アプリ・CamHi使用方法」  
をご覧ください（一般公開しておりませんので、弊社へお問合せください）。



## 18. アフターサービスについて

### 1. 日頃のお手入れについて

6カ月に1度は、本機外観の清掃をお願い致します。

### 2. 本機に異常が見られたとき

- ① 保証期間内に異常が見られた場合、別紙保証書の保証規定をご覧下さい。
- ② 保証期間外に異常が見られた場合、一度当社へご連絡をお願い致します。  
当社は安価型システム販売専門としている為、安価型商品を修理致しますと、以下のような項目の費用が発生し、最終的には新品価格と同等になります。
  - 1) 修理部品（症状により様々）
  - 2) 修理工賃
  - 3) 諸経費
  - 4) 配送費

従いまして、原則修理は受け付けておらず、新品への更新をお勧めしております。  
但し、不具合の症状の中には本機異常以外の理由で、

例1 : 映像にノイズ発生。  
⇒実は、コネクタ接続部の接触不良で本機には問題なし。

例2 : 映像が映らなくなった。  
⇒実は、モニターの電源が入らなくなっていた。

という事もありますので、機器点検は当社にて受け付けております。  
お客様より当社への発送費用は元払い（お客様のご負担）でお願い致します。  
以下に、軽微な症状例を明記致します。

例1 : ケーブル類の接触・断線寸前（カメラ関係でよくある症例）  
⇒ 修理可能

例2 : 内部バッテリー、HDD異常（レコーダー関係でよくある症例）  
⇒ 修理可能

このように、軽微な症状ですと修理は可能です。  
点検ご依頼の際は、点検結果をご報告し、軽微な症状に対する修理が可能と判断させていただいた場合は、お見金額も提示させていただきます。  
点検対象商品を当社からお客様へお送りする際の費用は、お客様ご負担でお願い致します。  
尚、点検は無料にて行っております。

廃棄物処理は受け付けておりませんので、当社へお送りしていただいた商品は必ずご返送させていただきます。

代替機の貸し出しは一切行っておりませんので、予めご了承下さい。

3. その他ご不明な点に付きましてはお問い合わせ下さい。

合同会社エレックスシステム

TEL : 045-317-9873

FAX : 050-3156-3747

e-mail : info@elexsystem.co.jp

修理のご依頼や保証期間内のご返送先は、  
保証書・納品書に"記載されています住所ではありません。"  
ご依頼・保証ご請求の際はメール・お電話にてお問い合わせ  
下さい。別途ご案内致します。

Copyright © ELEX SYSTEM. All Right Reserved.